

古代地名と音訳漢字

— 韻尾な世界への誘い —

講師

高山 倫明 教授

(九州大学文学部国語学国文学講座)

日程・会場

2月23日(金) 14時30分～16時30分

(開場14時00分)

天神ビル 11階 11号会議室

(福岡市中央区天神2-12-1)

参加無料

概要

奈良時代初期、諸国の郡・里などの行政地名に対し、好字二字化の策が取られます(好字令)。倭・都久志のような地名を、大和・筑紫と二字にして、長安・洛陽のような漢風にしようとしたのです。そこで利用されたのが字音の韻尾(音節末子音)でした。信濃・秩父・博多・愛宕などなど、字音読みにちょっとクセのある地名表記の多くはそうやって生まれました。地名を通して、揺籃期日本語表記の一面を眺めてみましょう。

お申込み

2月21日(水)までに、以下のいずれかによりお申込みください。

1. ホームページの専用フォームに入力：
URL：<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>
2. Eメール：cslp@lit.kyushu-u.ac.jp
3. TEL/FAX：092-642-7615

※ お申し込みの際には、参加者全員のお名前・ご所属・ご連絡先をご記入ください。
(担当者不在の際は留守番電話にメッセージをお願いします。)